

第 16 回
宮崎リハビリテーション研究会
プログラム

日 時 : 平成6年4月9日(土)
15:00開会

会 場 : JA・AZMホール (2F大研修室)
宮崎市霧島1-1-1
(TEL 0985 - 31 - 2000)

事 務 局 : 宮崎医科大学整形外科学教室内
〒889-16
宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5200
TEL(0985) 85 - 1510 内線(2220)
TEL(0985) 85 - 0986 (直通)
FAX(0985) 84 - 2931

——参加者へのお知らせ——

受付開始：14：30より。

参加費：1000円 会場受付で申し受けます。
但し、学生は無料です。

年会費：1000円 未納の方は受付で納入願います。

——演者へのお知らせ——

1. 口演時間：一般演題6分 討論4分
2. スライド：単写とします。演者は口演30分前までにスライドを
受付に御提出下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思いますので、400字詰原稿用紙
1枚の抄録を、**当日**受付に御提出下さい。

——世話人会のお知らせ——

14：20～14：50 大研修室控え室（2F）

——特別講演のお知らせ——

16：00～17：00 大研修室（2F）

『リハビリテーション機器 最近の動向』

東京大学医学部附属病院リハビリテーション科

加倉井 周一 教授

I . 開会 (15:00)

II . 一般演題 I (15:05~15:55)

座長 山口 和正

1. 乳房切除に対する早期リハビリテーションの試み

宮崎医科大学附属病院 整形外科	○日高 隆
*ブレストピア難波外科	田島 直也 平川 俊一
	*難波 清

2. 十代スポーツ選手の保存的治療 —特に腰痛体操について

宮崎医科大学附属病院 整形外科	○中村 真由美 日高 隆
**押川整形外科医院	田島 直也 黒木 俊政
	**押川 紘一郎

3. リウマチ患者における自助具の効用

市民の森病院看護婦	○小林 里美 副島 洋子
整形外科	新佐枝 潤子 瀬戸口 加代子
	森田 信二

4. 宮崎県における療育の現状について

県立こども療育センター 医療科 訓練室	○河野 善彦 竹本 秀雄
	古川 勝政 野口 拓己
整形外科	本村 暢生 横山 浩一郎
	山口 和正

5. トライウォールの使用経験

県立こども療育センター

医療科 訓練室

総務課

整形外科

○古川 勝政 井上 実

横山 浩一郎

橘 文隆

山口 和正

柳園 賜一郎

——— 休 憩 (5分) ———

III. 特別講演 (16:00~17:00)

座 長 田島 直也

『リハビリテーション機器 最近の動向』

東京大学医学部附属病院リハビリテーション科

加 倉 井 周 一 教 授

IV. 閉会 (17:05)

第 17 回
宮崎リハビリテーション研究会
プログラム

日 時 : 平成7年3月11日(土)
15:00開会

会 場 : JA・AZMホール (2F大研修室)
宮崎市霧島1-1-1
(TEL 0985 - 31 - 2000)

事 務 局 : 宮崎医科大学整形外科学教室内
〒889-16
宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5200
TEL(0985) 85 - 1510 内線(2220)
TEL(0985) 85 - 0986 (直通)
FAX(0985) 84 - 2931

——参加者へのお知らせ——

受付開始：14：30より。

参加費：今回は無料です。

年会費：1000円 未納の方は受付で納入願います。

——演者へのお知らせ——

1. 口演時間：一般演題6分 討論4分
2. スライド：単写とします。演者は口演30分前までにスライドを受付に御提出下さい。
3. 口演内容を記録に残したいと思いますので、400字詰原稿用紙1枚の抄録を、**当日**受付に御提出下さい。

——世話人会のお知らせ——

14：30～15：00 大研修室控え室（2F）

I . 開 会 (1 5 : 0 0)

II . 一 般 演 題 I (1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 5 0)

座 長 平 川 俊 一

- 1 . A C L 損 傷 術 後 の リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン
- cybex 測 定 に よ る -

宮 崎 医 科 大 学 附 属 病 院

リハビリテーション部 ○中村 真由美 日高 隆
整 形 外 科 黒木 俊政 樋口 潤一
 田島 直也 平川 俊一

- 2 . 脳 卒 中 発 現 に 関 す る 患 者 心 理 の 理 解

野 村 病 院 ○野村 敏彰

- 3 . 宮 崎 県 に お け る 療 育 相 談 の 現 状 と 展 望

県立こども療育センター ○柳園 賜一郎 坂本 武郎
 山口 和正

- 4 . 母 子 入 所 母 親 へ の 希 望 調 査

県立こども療育センター ○川衛 耐
 柳園 賜一郎 山口 和正

- 5 . 院 内 A D L と 在 宅 A D L に 差 が 生 じ る 要 因

野 村 病 院 ○野村 敏彰 佐藤 克朗
 中島 真知子

III . 閉 会

- 引 き 続 き 『 第 2 回 宮 崎 リ ウ マ チ の ケ ア に 関 す る 研 究 会 』 が 開 か れ ま す 。 -

第19回
宮崎リハビリテーション研究会
プログラム

日時 平成8年9月14日(土)
13:30開会

会場 身体障害者相談センター研修室
宮崎郡清武町大字木原5719-2
TEL 0985-85-3388

担当および連絡先
宮崎郡清武町大字木原4257-8
宮崎県立こども療育センター
0985-85-6500
所長 山口 和 正

—— 参加者へのお知らせ ——

受付開始：13：00より

参加費：1000円（学生は無料）会場受付にて申し受けます。

年会費：1000円 入会希望の方は受付にお申し込み下さい。

住所、所属の変更のあった会員の方は受付までお申し出下さい。

—— 演者へのお知らせ ——

口演時間：1題につき口演6分、討論4分程度とします。

スライド：単写とします。口演の30分前までにスライド受付にご提出下さい。

*口演内容をB5サイズの抄録にして当日受付にご提出下さい。

世話人会のお知らせ

12：50～13：20（ミーティングルーム）

特別講演のお知らせ

15：40～16：40

「保健所の仕事と地域リハ」

日向保健所長 鈴木 泉 先生

13:30 開会

13:40 演題I

座長 平川俊一

1. 重度心身障害児・介助者が共に安全安楽な入浴ができる補助具の考案

こども療育センター 野崎展子、他

2. 最近のプラスチック装具の関節について

立川義肢製作所 立川歳弘

3. 頸椎損傷の主婦の住宅改造

MAI企画 岩浦 厚信、岩浦 真理子

4. 福祉ホームBE FREEでの生活

(社)日本筋ジストロフィー協会宮崎県支部
事務局長 山中道夫

14:30 演題II

座長 黒木俊政

5. 当院における総合リハの一実践法

野村病院 井手誠一 北村庄司

6. 介護者指導によるリハビリテーションの有効性

野村病院 野村敏彰、北岡ミツ子

8. 音楽と映像をとおしてのリハビリテーション

野村病院 野村敏彰、平田弘明、那波欽也

9. これからのリハビリテーションについての在り方

野村病院 野村敏彰

15:20 休憩

15:30 特別講演

座長 山口和正

「保健所の仕事と地域リハ」

日向保健所長 鈴木 泉 先生

16:40 閉会

第20回宮崎リハビリテーション研究会 ご案内

拝 啓

清涼の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

下記の要領で第20回宮崎リハビリテーション研究会を開催致します。

今回は開催20回を記念して、特別講演2題と自由討論会を予定しておりますので、ぜひご出席賜りますようご案内申し上げます。

敬 具

宮崎リハビリテーション研究
会 長 田島 直也

記

日 時：平成9年10月25日（土）午後3時～

場 所：宮崎県医師会館4F研修室

宮崎市和知川原1-101 ☎ 0985-22-5118

参加費：1000円

特別講演：「介護保険制度とケアマネジメント」

宮崎温泉リハビリテーション病院 院長

木 田 修 先生

「地域リハビリテーションの現状と課題

英国サウサンプトンとの比較を通して」

長崎大学医療技術短期大学部 教授

松 坂 誠 應 先生

自由討論：「宮崎における地域リハビリテーションの現状

—アンケート調査をもとにして—」

*今回は一般演題の募集は致しません。

*日本リハビリテーション医学会1単位認定

特別講演（15：00～17：05）

座長 田島 直也

「介護保険制度とケアマネジメント」

宮崎温泉リハビリテーション病院 院長 木田 修 先生

介護保険制度は、市町村が運営主体となり、40才以上の全国民が保険料を負担する社会保険制度である。介護費用全体の2分の1は公費で賄われ、利用者は1割を自己負担することになる。サービス内容は、居宅サービスと施設サービスに大別されるが、前者は訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、ショートステイ、デイケア、グループホーム介護、福祉用具貸与などのことであり、後者は特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型病床群などでの入院・入所サービスのことである。

保険事故というべきものは要介護状態であり、保険給付に際しては要介護状態の審査が必要になってくる。そこで、介護保険制度では「要介護・要支援認定」という審査を経て、サービスの現物給付が行われることになる。要介護度の認定は、市町村に設置される介護認定審査会で審査されるが、要介護高齢者あるいは家族の認定を受けて、「認定アセスメント」に基づいた身体機能や精神機能の評価によって、保険給付の適否および等級が検討される。その際、かかりつけ医の意見書も参考にされ、自立、要支援、要介護（5段階の等級）および再調査のいずれかに判定される。要介護と判定されたものには、先に述べたすべてのサービスが提供されるが、要支援と判定されたものには、グループホーム介護を除く居宅サービスが提供され、施設サービスは提供されない。

要介護あるいは要支援状態と判定された場合には、介護サービス計画（ケアプラン）を作成して、居宅あるいは施設サービスを受けることになる。利用者のアセスメントやニーズの調査からケアプランを作成して、サービスを提供する一連の流れをケアマネジメントと呼ぶ。本来、介護保険制度とケアマネジメントは別物であるが、わが国では両者を連動させたシステムを構築しようとしているのである。

— 休憩（5分） —

「地域リハビリテーションの現状と課題
英国サウサンプトンとの比較を通して」

長崎大学医療技術短期大学部 教授 松坂 誠應 先生

地域リハビリテーションとは、「障害を持つ人々や高齢者が、住み慣れたところで、そこに住む人々と共に一生安全にいきいきした生活ができるよう、医療や保健、福祉および生活にかかわるあらゆる人々が、リハビリテーションの立場から行う活動」であり、彼らの社会的自立と生活の質の向上のため適切な地域ケアサービスを提供するためには、医療・保健・福祉等の連携が極めて重要となる。英国においては、1990年の「国民ヘルスサービスと地域ケア法」の成立後、ヘルスサービス（日本の医療と保健に相当）と社会サービス（福祉）の有機的使用のために様々な試みがなされている。すなわち、入院早期から患者の在宅生活を想定し、患者の能力や生活に応じたリハビリプログラムの実施や、社会サービス部のソーシャルワーカー（SW）との連携で生活環境の整備を行い、円滑で早期の在宅生活への意向を図っている。在宅生活者に対しては、ケアマネジメントの手法を用い対象者のニーズにかなった効果的かつ効率的なケアサービスの提供を行っている。

95年に在宅ケアスタッフに対するアンケート調査を行った。その結果、長崎のケアスタッフは約50%の対象者で「医療情報不足のため適切なサービス提供ができていない」と回答したが、サウサンプトンでは、わずか1%であり、「医師がケアサービスを照会」したものがサウサンプトンでは約35%であったのに対し長崎ではわずか1%と、地域ケアに対する医師の関わりが極めて低かった。医療抜きの地域ケアなどあり得ない。医療、特に医師の積極的な参加が急務である。

英国の医療・福祉制度を示しながら、わが国の課題やサービス調整役としての職種についても述べる。

— 休憩（10分） —

自由討論（17：15～18：00） 座長 山口 和正

「宮崎における地域リハビリテーションの現状
—アンケート調査をもとにして—」

宮崎医科大学整形外科
リハビリテーション

○鳥取部光司
中村真由美、日高 隆